

AGC color glass

# Lacobel Plume

The Interior decorative material for residential









より手軽に、  
より安全に、より美しく！  
AGCカラーガラス  
『Lacobel』に  
新シリーズ登場。

空間に格調と華やぎを与える高質感、  
奥行きと広がりをもたらす高反射性、  
いつまでも色褪せることないその輝きによって、  
店舗やオフィス、マンション共用部を彩る内装材として  
人気を集めるAGCカラーガラス『Lacobel』。

そんな『Lacobel』に軽量化と安全性を追求した  
シリーズが新登場！

従来用途はもちろん、住戸内での採用に  
さらに威力を発揮します。

リビングや寝室に高質感を付加する壁材として、  
キッチンカウンターやトイレ空間のメンテナンス性を高める  
パネル材として、家具や建具にオリジナリティを与える  
ポイント素材として…。

生活空間をより豊かに、より自分らしく演出する  
新しい内装材の登場です。



Lacobel  
Plume

ラコベル®プリュム®

# 住宅に『Lacobel』? あまりなじみがないけれど…。

ヨーロッパではとても  
人気のある内装材です。



日本の住宅ではまだまだなじみの薄いカラーガラスですが、ヨーロッパでは空間に奥行きや広がりを与えるとともに、色彩によって住まい手の個性を手軽に表現できる内装材として、高い人気を誇っています。

どんなところに使えるの?



空間のテイストを左右するリビングや寝室の大壁面への採用はもちろん、キッチンカウンターのパネル、建具や家具等に華やぎを与えるアクセントとして用いることで、生活空間をより豊かに、より自分らしく演出することができます。

安全性はだいじょうぶ?



“割れると危険”というイメージのあるガラスですが、構造躯体に仕上げ材として貼られるカラーガラスは、自立して使用される窓ガラスよりも安全です。万が一割れた場合でも、飛散防止対策が施されているため、破片による大きなけがを防止できます。

日々のお手入れは?



抜群の平滑性を持つガラスは、日頃のお手入れも簡単。通常の拭き掃除で汚れを容易に落とせます。耐久性にもすぐれ、いつまでも色あせない輝きを放ちます。

他の内装材との相性は?



鉱石を原料とするガラスは、木や石、紙や煉瓦などと同じく、最古から使われている自然素材のひとつです。加えて、そのすぐれた平滑性もたらずモダンな印象によって、ステンレスやアクリルなど、現代的な素材との相性も抜群です。

Lacobel  
Plume

ラコベル®プリュム®

ヨーロッパの発色を日本の品質で。  
住宅に特化したカラーガラス

『Lacobel Plume』は、住宅への導入を第一に考えたカラーガラス。  
AGCヨーロッパで人気の色をメイドインジャパンの品質で製品化しました。  
新築はもちろん、リフォームにも最適です。

軽量化

従来品Lacobelを60%軽量化、ガラスの搬送や取り扱い難さの要因である重さの問題を大きく軽減。

飛散防止性

樹脂との複合化により、生活衝撃耐性と万が一割れた場合の飛散防止性を実現。

新たなデザインの  
提案

オリジナルの目地材・見切り材で、従来にない目地部を強調したデザインが可能です。

不燃材認定品

不燃材認定品であり、防火区画における内装制限部位にも使用することが可能です。

※コンロまわりに使用する場合は弊社カスタマーセンターへお問い合わせください。

Color Sample



ホワイト



パールホワイト



ライトベージュ



ナチュラルブラウン



ダークブラウン




クラシックレッド



ソフトホワイト



シェード

サンプルご請求先  0570-001-555

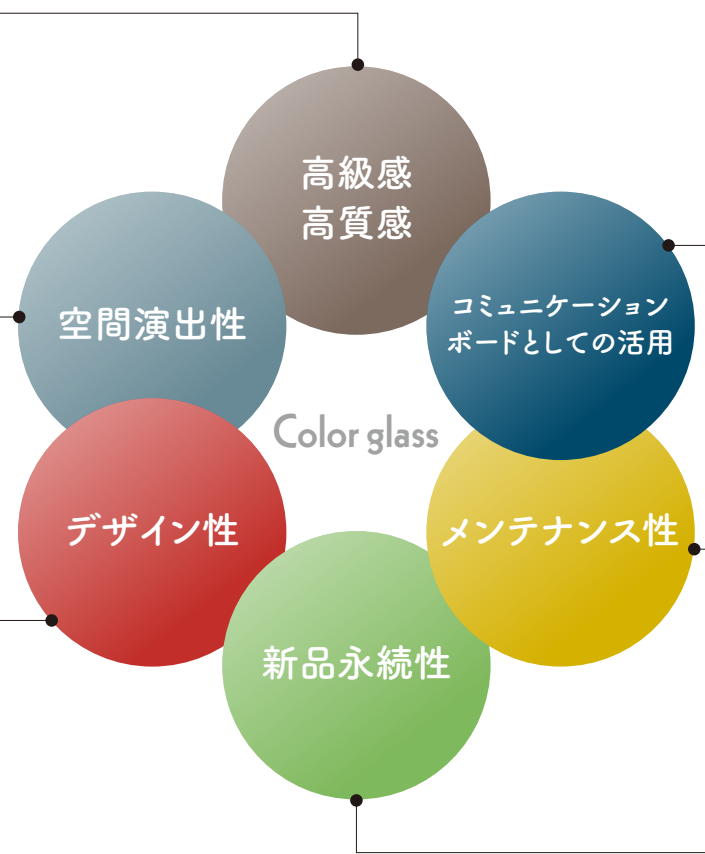
■ 本カタログは、写真と印刷により実物に近い色味を再現しておりますが、実物とは色味が多少異なります。■ 各色のサンプルをご用意しておりますので、お

# 『Lacobel』の魅力ってなに？

壁紙や塗装と違って、ガラスという透明な皮膜を通して認識する色は、その深みが違います。反射や屈折など、外部環境によって変化する複雑な色味は、空間に高級感と高質感を与えます。

カラーガラスの魅力は、なんといってもその反射性。ガラスの平滑性を活かした映り込みにより、限られた空間においても奥行きと広がりを与えます。自然光のみならず、照明との相性も抜群です。

カラーバリエーションは、選び抜かれた全16色。他素材との相性を考慮した充実のラインナップで、ライフスタイルに即した個性的な住空間を彩ります。

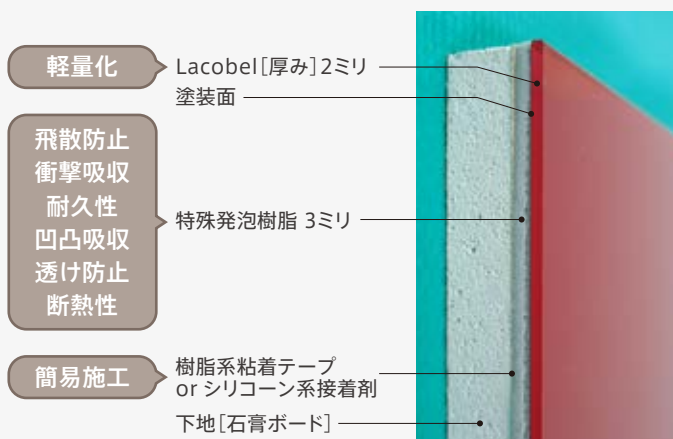


汚れがつきにくく拭き取りやすいカラーガラスならではの特性は、単なる壁面をコミュニケーションスペースへと変貌させます。伝言を伝える黒板に、自由に落書きができる画用紙に、用途は無限に広がります。

木や煉瓦などの自然素材とは違い、表面に凸凹のないガラスは、日々のお手入れも容易です。通常の拭き掃除で、キッチンカウンターや家具や建具の扉など、汚れのつきやすい場所でも常に清潔な状態を保ちます。

錆や腐食などの経年劣化とは無縁のガラスと、特殊塗料を組み合わせ生まれたカラーガラス。『Lacobel Plume』は、新築時・新品時の輝きをそのままに、ご家族の暮らしを長期的に見守ります。

## ▶ 商品構造



## ▶ オリジナル目地材・見切り材 (オプション)

高級感とエッジラインのデザインを追求した形状

### 見切り材

クリア(アルミ材)のみ

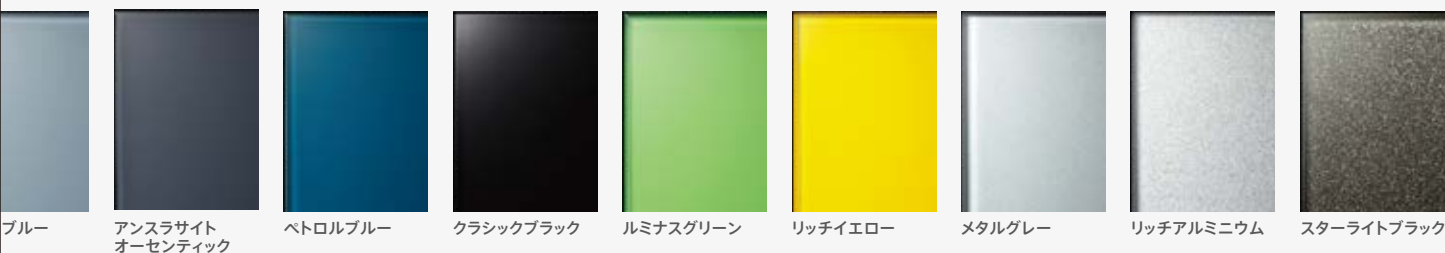


### 目地材

樹脂色5色



他: 端部カバー材セット、出隅材もご用意しています。



気軽に ご請求いただき、サンプルで実際の色味をご確認ください。

最大寸法: 2410×1000 [ミリ] / 規格寸法: 2410×900, 1800×900, 600×900 [ミリ]  
呼び厚: 5ミリ / 基板: フロート板ガラス

## 設計・施工上のご注意と日常のお手入れについて

● 設計上のご注意 ○ 使用上のご注意

- 内装専用の商品です。外装では使用できません。
- 屋内使用でも直射日光が長時間当たる場所への使用は避けてください。
- 施工環境、条件によっては、変色や剥離などの不具合が生じるおそれがあります。
- 浴室など多湿環境でのご使用はお避けください。
- 下地は石膏ボード指定です。
- ラコベルブリュムは下地材に圧着施工しますので、下地の精度が仕上がりの良否に影響します。凸凹や不陸がないよう調整してください。
- 目地部のシーリング材は、無酢酸タイプのシリコンシーラントまたは〈POSシールマルチ〉をお使いください。
- ロット違いにより若干の色違いが発生する場合があります。色合せの必要がある場合は全面を同ロットでの施工としてください。  
特にホワイト、淡色系につきましては、事前に施工店様へのご確認をお願いします。  
その他、現物の色が同じでも、以下の要因によって色が異なって見える場合があります。  
■色が異なって見える要因  
(1)現物の色が異なる (2)光源が異なる (3)見る方向や照明の位置が異なる (4)サイズが異なる (5)背景が異なる (6)観察者が異なる  
※カラーバリエーションによっては、製造上避けることのできない若干の色ムラが発生する場合があります。ご採用の際は、カラーサンプルにて、予め、ご確認ください。
- 曲げ加工はできません。
- ラコベルブリュムは垂直、または上向き壁面に施工してください。
- 特に、ストーブなどでガラスが加熱される場合「熱割れ」、「加工材料の劣化」の原因になりますので、加熱される場所への使用はできません。
  - 常に表面や目地をできるだけ乾燥した状態に保ってください。
  - 汚れは薄めた中性洗剤を用い、やわらかい布で拭いてください。
  - 洗浄後、乾いた布で拭きあげ、目地や下地に水分が長時間残留しないようご注意ください。
  - 頑固な汚れでもカッターで削り取ったり金属タワシやスチールウール、研磨剤入りのナイロンタワシなどは使用しないでください。表面に傷がつく場合があります。
  - 目地の汚れなどに塩素系のクリーナーは使えません。裏面の塗料に悪影響を及ぼす場合があります。
  - 施工方法については、必ずラコベルブリュムの施工要領書をご確認の上、正しく施工してください。

## Lacobel Plumeについて、より詳しくお知りになりたい方はこちらまで!

### 【 Lacobel Plume特集ページ 】

<https://www.asahiglassplaza.net/products/colorglass/lineup/index.html>

#### ▼ 施工方法解説動画

[https://www.asahiglassplaza.net/products/colorglass/mov/plume\\_01.mp4](https://www.asahiglassplaza.net/products/colorglass/mov/plume_01.mp4)

#### ▼ 安全確認試験動画

[https://www.asahiglassplaza.net/products/colorglass/mov/plume\\_02.mp4](https://www.asahiglassplaza.net/products/colorglass/mov/plume_02.mp4)

#### ▼ Lacobel Plume施工要領書.PDF

[https://www.asahiglassplaza.net/common/pdf/plume\\_sekou.pdf](https://www.asahiglassplaza.net/common/pdf/plume_sekou.pdf)

## AGC旭硝子 ビルディング・産業ガラスカンパニー

〈製造・販売元〉

## AGCガラスプロダクツ株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野 4-24-11 NBF 上野ビル  
<http://www.asahiglassplaza.net>

サンプルのご請求・商品  
のお問い合わせはコチラ  0570-001-555

※お掛け間違いのないように十分にお気を付けてください。

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

【受付時間】平日9時～12時・13時～17時(土・日・祝はお休み)

HELLO

## AGC studio

「AGC studio」は、建築用ガラスのコンシェルジュです。ここでは、来場者にガラスの魅力・機能を分かりやすく伝え、体感いただくショールーム機能のほか、お客様とのコミュニケーション・コラボレーションを通じて、これまでにないガラスの使用方法を追求し、新たなガラス文化の創出を目指しています。

アクセス：銀座線京橋駅4番出口すぐ、東京駅八重洲南口より徒歩10分

有楽町線銀座一丁目駅より徒歩4分、都営浅草線宝町駅より徒歩3分

開館時間：10:00～18:00

休館日：日曜日・月曜日・祝日・年末年始・夏季休暇

東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館1、2階 <http://www.agcstudio.jp/>

■本カタログは予告なく改訂することがありますのでご了承ください。

■カタログの色と実際の色が異なる場合がございます。サンプルにてご確認ください。

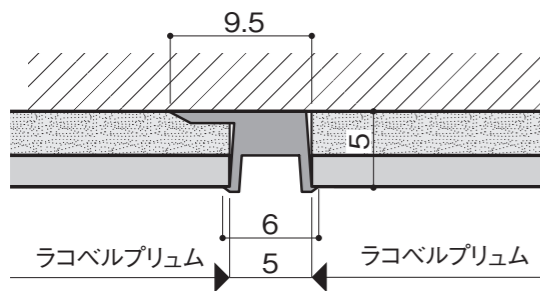
36110-004010 | 2017.1.TY



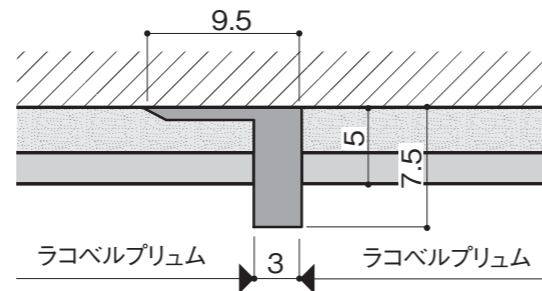


## 目地

目地材 LPE001

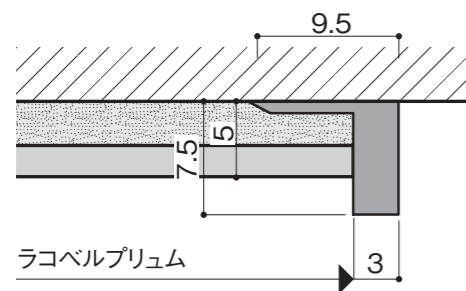


見切り材 LPE002

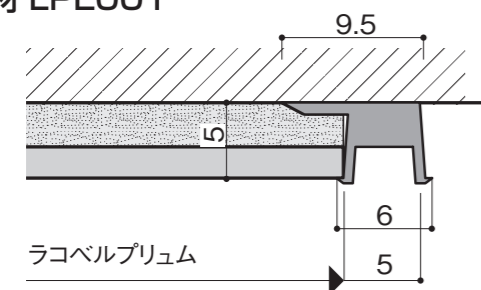


## 見切り

見切り材 LPE002

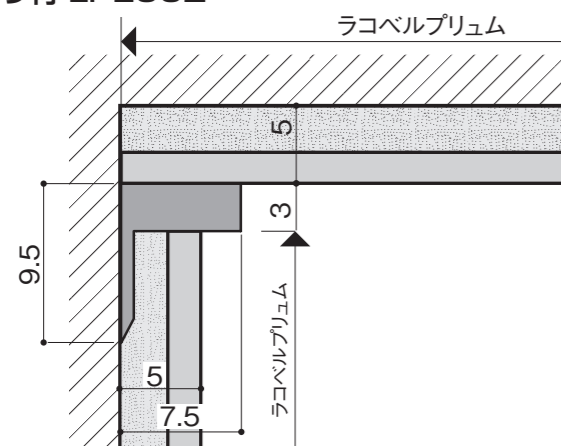


目地材 LPE001



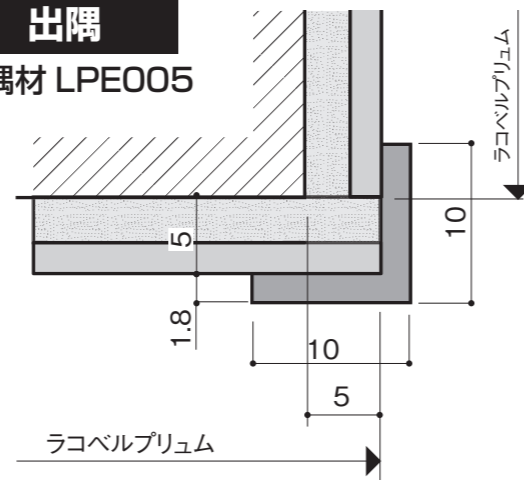
## 入隅

見切り材 LPE002



## 出隅

出隅材 LPE005



## 組立・施工の前に

この度は、AGC《ラコベルプリュム》をご採用いただきましてありがとうございます。この商品を正しく安全に組立・施工していただくため、施工前には、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

## 安全にお使いいただくために

この組立・施工要領書に示した注意事項は安全に関する重要な内容です。人身事故や財産の損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。内容をよく理解して本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げる物です。「必ず行っていただく事」を示しています。



イラストは、してはいけない「禁止行動」を示しています。

## Index

- 安全にお使いいただくために ..... 1
- 仕様/部材・部品一覧表 ..... 2
- 設計・施工上の要点/注意事項
- ラコベルプリュムの施工について ..... 3
- 下地の確認 ..... 3
- ラコベルプリュムの割り付け計画
- 専用部材(見切り材・目地材)使用の場合 ..... 4
- 目地をシーリング仕様とする場合 ..... 5
- ラコベルプリュムの加工基準 ..... 5
- ラコベルプリュムの切断加工 ..... 6
- 保管に関する注意 ..... 6
- 持ち運びに関する注意事項 ..... 7
- 施工前の確認と準備
- 1. 下地の確認 ..... 8
- 2. 墨出し(ラコベルプリュム割り付け墨) ..... 8
- 3. 貼り付け準備(現場で両面テープを貼る場合) ..... 9
- 施工手順
- 1. 端部カバー材ベースの貼り付け ..... 9
- 2. ラコベルプリュムの取付け準備 ..... 10
- 3. ラコベルプリュムのセット ..... 11
- 4. 目地材の取付け ..... 12
- 5. 2枚目以降のラコベルプリュムの貼り付け ..... 12
- 6. 入隅の取付け ..... 13
- 7. 出隅の取付け ..... 14
- 8. 端部カバー材カバーの取付け ..... 14
- 9. 見切り材取付け ..... 15
- 10. 施工後の確認 ..... 15
- 11. 接着剤を使用して施工する場合 ..... 15
- 専用部材(見切り・目地・入隅・出隅)の使用法 ..... 16

## 注意

- 本製品はガラス製品につき取扱いの際は十分ご注意ください。
- 本商品は屋内専用です。屋外使用はできません。屋内使用でも直射日光が長時間当る場所への使用は避けてください。
- 浴室などの温度の高い場所、結露しやすい場所での使用は避けてください。
- ストーブなどでガラスが極端に加熱される場合「熱割れ」、「加工材料の劣化」の原因になりますので、極端に加熱される場所への使用はできません。
- キッチン(コンロ前)にご使用の場合には、下記にお問い合わせください。AGC旭硝子 ビルディング・産業カンパニー カスタマーセンター(お問合せ受付時間/平日9:00~12:00、13:00~17:00) 0570-001-555(ナビダイヤル、全国一律市内通話料金) PHSの場合は、050-3377-5419におかけください。
- ビス、釘などによる施工はできません。カケ、クラックの原因となります。
- 突き付け施工はできません。必ず目地材またはシーリング材(隙間3mm以上)をご使用ください。
- 曲げ加工はできません。
- 商品の施工については必ず本説明書に従ってください。
- 以下に該当する低温環境下では施工しないでください。
  - ①両面テープでの貼り付けの場合.....10℃以下
  - ②接着剤での貼り付けの場合.....5℃以下
- 清掃する際は、傷が付かないように、きれいな水やぬるま湯を浸した、きれいな柔らかい布やスポンジなどで軽く拭いてください。スポンジの堅い部分の使用や強く擦ることは避けてください。仕上に、きれいな布でから拭きをしてください。
- 洗剤を用いる場合は、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤を用い、仕上げ段階で良く拭き取ってください。溶剤(シンナーなど)などの薬品はお使いにならないでください。

## お願い

- 建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
- 接着剤、両面テープは弊社指定・推奨品(P2参照)のものをご使用ください。
- 周囲の壁や床を傷つけないよう保護マットなどで養生してください。
- 衝撃を与えたり負担のかかる持ち方をすると割れる恐れがあります。取扱いには十分ご注意ください。
- 施工する前に、輸送時にガラスに破損・傷がないか、確認をお願いします。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。

# 仕様 / 部材・部品一覧表

## 商品仕様

品名	分類	呼び寸	サイズ (mm)	梱包入り数	
				段ボール (枚/箱)	パレット (枚/パレット)
ラコベルプリウム	定寸	3×8	900×2410	1～2枚	1～20枚
		3×6	900×1800	1～2枚	1～20枚
		2×3	600×900	1～8枚	1枚～
	原寸	最大	1000×2410	1枚～	1枚～
最小	100×100				

## 別売り施工部材 (推奨品)

### ■ラコベルプリウム貼り付け用

別売り施工部材	品名	サイズ・容量	標準施工量
両面テープ	ATX-1003、または DCX-1018 (3M ジャパン)	25mm 幅	100mm ピッチ
接着剤	エコエコボンド不燃化粧材用接着剤 SE-1 (アイカ工業)	333ml/本	10g/㎡以上
	POS シールマルチ ライトグレー (セメダイン)	333ml/本	10g/㎡以上
	DOW CORNING 758 (東レ・ダウコーニング)	333ml/本	10g/㎡以上
	SE5006 シーラント (東レ・ダウコーニング)	333ml/本	10g/㎡以上

※両面テープ仕様の場合は、ラコベルプリウム裏面に貼り付けてご使用ください。

※接着剤仕様の場合は、石膏ボードへ塗布してご使用ください。

◎内装制限部位に施工される場合は、下記の両面テープをご使用ください

別売り施工部材	品名	サイズ・容量	標準施工量
両面テープ	ATX-1003 (3M ジャパン)	25mm 幅	100mm ピッチ

※防火区画が適用される場合は下地材にも制限がありますのでご注意ください。

## ■目地用

別売り施工部材	品名	サイズ・容量	標準施工量
充填剤	シリコーン系シーリング材 (オキシム型)		

## 専用部材

品名	目地材	見切り材・エンド材・入隅材	端部カバー材セット※1	出隅材
用途	目地・見切り	端部材・入隅・目地	端部カバー材	出隅
姿図				
品番	LPE001	LPE002	LPE003・004	LPE005
サイズ・容量	L=2410mm	L=2410mm	L=2410mm	L=2410mm
カラー	アルミ部:クリアー 樹脂部:ホワイト・ブラック・グレー・ ブラウン・ベージュ	アルミ部:クリアー 樹脂部:グレー (樹脂部分は露出しません)		

※1: LPE003とLPE004はセット販売となります。

## 必要な工具【準備するもの】

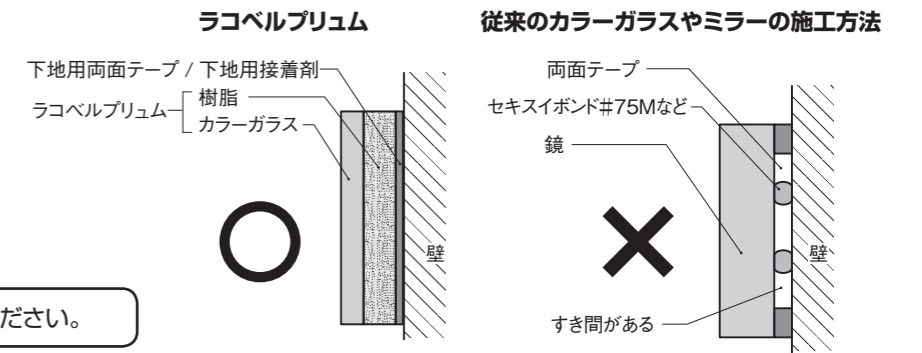
	ガラスカッター (2mmガラス切断)	ガラス切断用定規	カッター (樹脂カット用)	ダイヤモンドペーパー	はさみ (部材カット用)	手袋・保護めがね	接着剤
推奨品	H&H 超硬オイル硝子切り 2～8mm TC-15 (三共コーポレーション)	すべり止め、傷防止ゴムの付いたガラス用定規	特専M型ロング中型(OLFA) 超極薄中ロング刃 0.2mm厚 品番201B	6200JSM18-40 フレキシブルダイヤモンドハンドラップ(3M) ダイヤモンドペーパー #400 SK-11(藤原産業)	万能電工はさみ PRO FM06-210 (FUJIYA)	すべり止め付手袋	※LPE005 ご使用の場合 スーパーXゴールド (セメダイン)

# 設計・施工上の要点 / 注意事項

## ラコベルプリウムの施工について

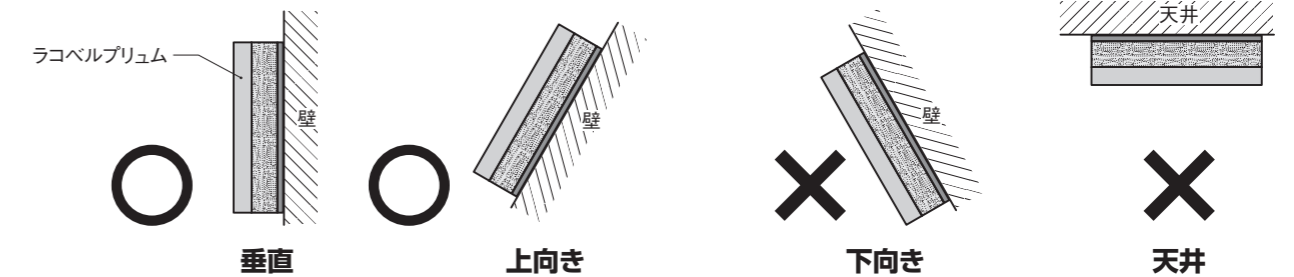
### ■直貼り限定品

- ラコベルプリウムは直貼り施工限定です。
- 両面テープ (P.2 参照) をご使用ください。
- 従来のカラーガラスやミラーの施工方法では施工できません。

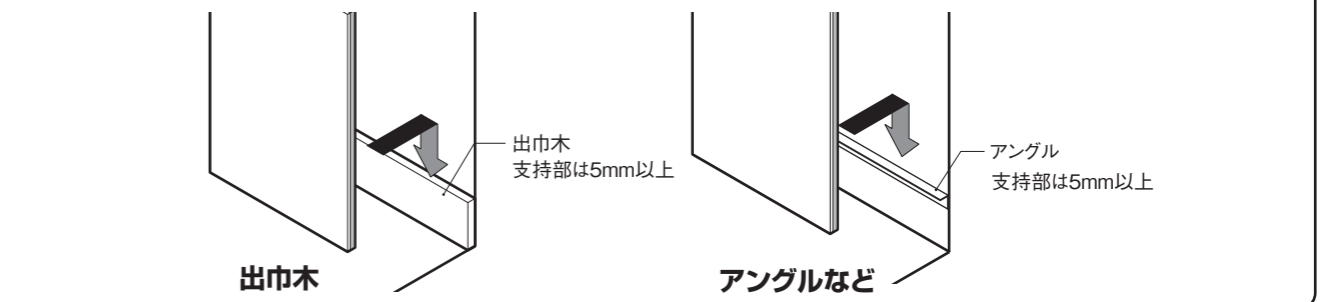


① お願い 壁とすき間なく貼ってください。

### ■ラコベルプリウムは垂直、または上向き壁面に施工してください。



① お願い 必ず下辺を支持してください。 ※支持部は5mm 以上の出巾木、アングルなど



## 下地の確認

### 施工可能な下地



#### 下地材

- 石膏ボード

#### 施工方法

直貼り施工

#### ご注意

- ※下地材の選定と構造の作成は建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合する様に行なってください。
- ※壁紙・クロス下地の場合は支持力が期待できないため、取付け部分(接着部分)の壁紙などをはがす必要があります。
- ※ラコベルプリウムは下地材へ圧着施工をしますので、下地の精度が仕上がりの良否に影響します。凹凸や不陸がないよう調整してください。

### 施工に適さない下地



- 湿気を帯びた下地
- ALC 躯体
- RC・モルタル壁面
- ラワン合板・ケイカル板
- 塗装面・クロス面・化粧面

※施工に適さない下地の場合、必ず石膏ボードを貼ってください。

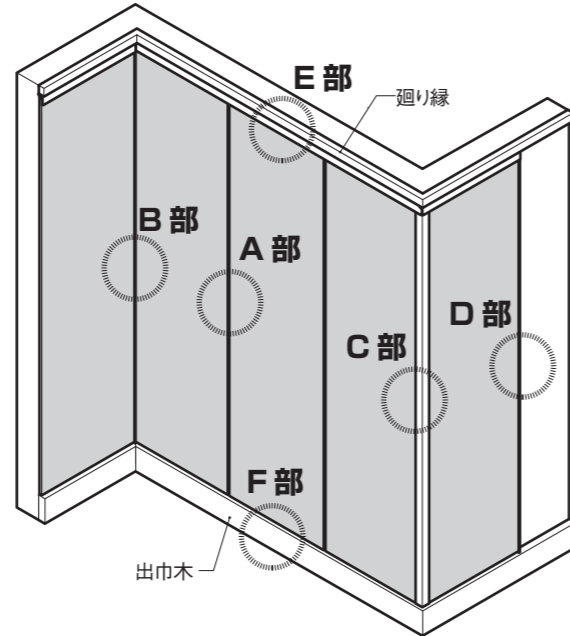
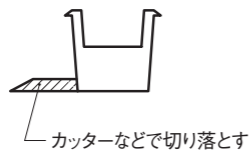


## ラコベルプリュムの割り付け計画 専用部材（見切り材・目地材）使用の場合

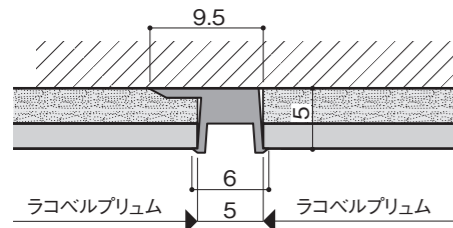
●割り付け計画にあたっては、加工基準を遵守の上、ご計画ください。

### 割り付け時の注意

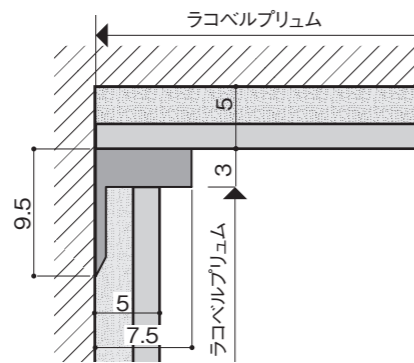
- 下地材の目地とラコベルプリュムの目地が重ならないように割り付けてください。
- 突き付け施工はできません。  
目地材を使用するか、シーリング目地(目地幅=3mm以上)としてください。
- 出巾木(5mm以上)の上、またはそれに相当する支持部品の上に施工してください。
- ラコベルプリュムのサイズが200mm以下の場合には専用部材(見切り材/目地材)のフィンを切り落とし、接着剤にて貼り付けてください。(図参照)



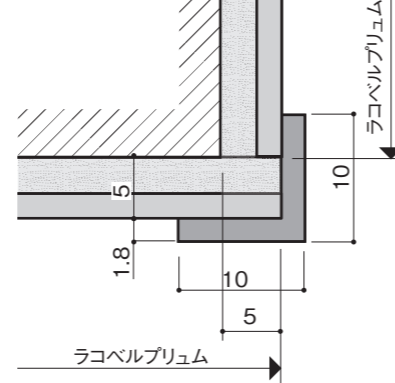
**A部(目地)**  
目地材 LPE001



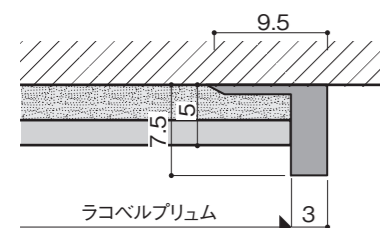
**B部(入隅)**  
見切り材 LPE002



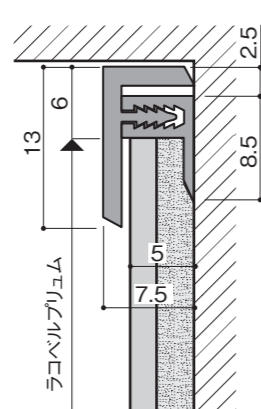
**C部(出隅)**  
出隅材 LPE005



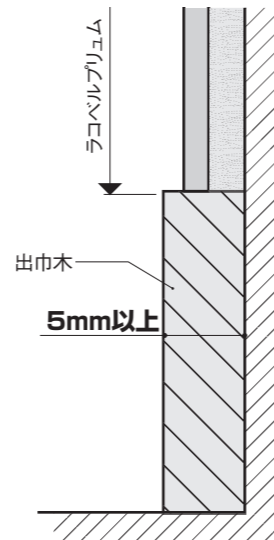
**D部(見切り)**  
見切り材 LPE002



**E部(見切り)**  
端部カバー材  
LPE003・004

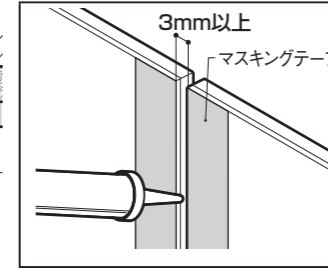
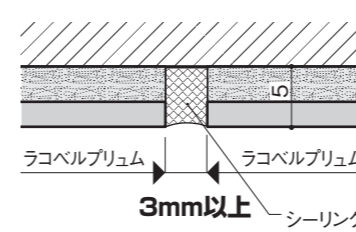


**F部(出巾木)**  
厚さ 5mm 以上の出巾木をご使用ください。

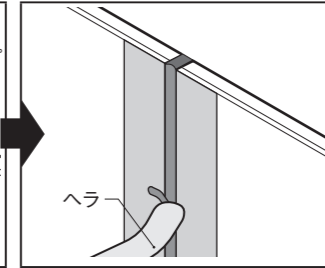


## ラコベルプリュムの割り付け計画 目地をシーリング仕様とする場合

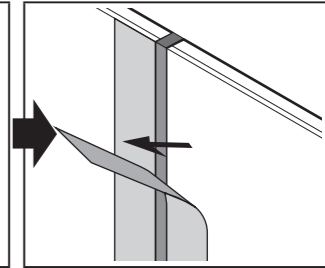
### 目地部のシーリング



マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコンを注入する

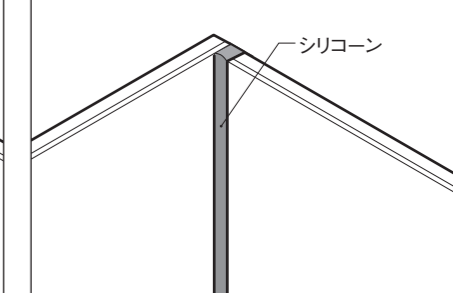
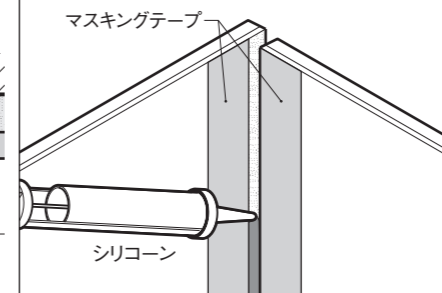
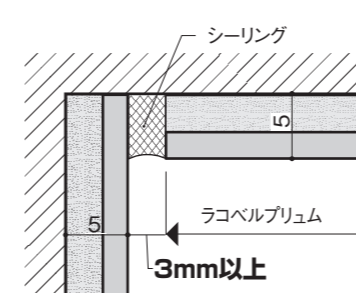


ヘラなどを用いて、余分なシリコンを掻き取る



マスキングテープをゆっくりと内側に剥がす

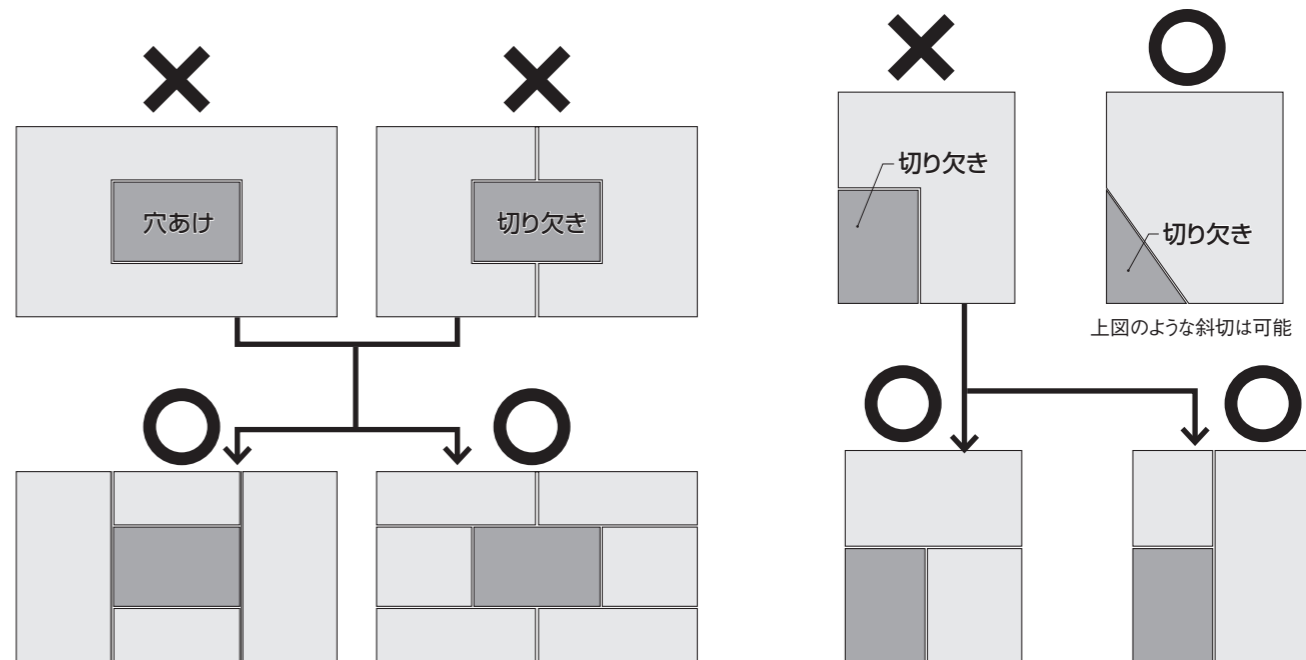
### 入隅部のシーリング



## ラコベルプリュムの加工基準

現場での穴あけや切り欠きなどの加工はできません。

※ラコベルプリュムの穴あけや切り欠きなどの加工は、クラックの発生や強度の低下を招きますので、避けてください。



## ラコベルプリュムの切断加工

●ラコベルプリュムは切断加工することができます。

**注意**

- 作業に当たっては、必ず手袋、保護メガネを着用してください。
- 加工した角部で切創する可能性があるため、必ずカット断面をダイヤモンドペーパーなどで角部を面取りしてください。

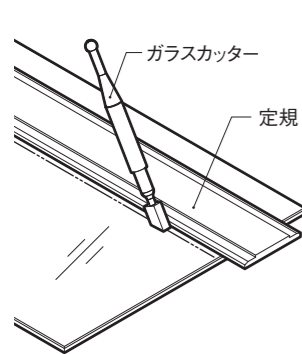


### ①ガラスに切り線を入れる

切断位置に定規を合わせ、ガラスカッターで切り線を入れます。

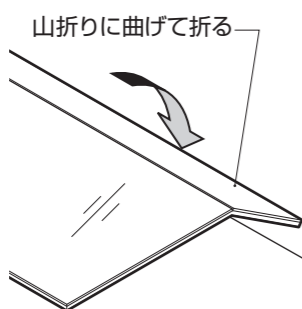
※切り線は最初から最後まできっちり入れてください。

※すべり止め付定規だと作業がしやすくなります。



### ②ガラスの切断

切り線を開くように、山折りに曲げて、ガラスを折りまします。

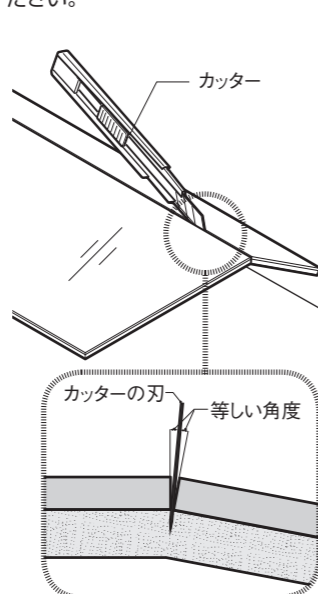


### ③樹脂層の切断

樹脂層を軽く折り曲げた状態で、残った樹脂部分にカッターを入れて樹脂層を切り離します。

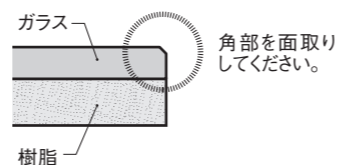
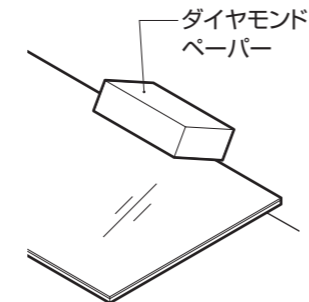
※切断面がひとしい角度となるよう、カッターの刃は斜めに当てて切断してください。

※カッターの刃に接着剤が付いた場合は、エタノールなどで拭い取ってください。



### ④切断面の処理

カットした角部で手を切る可能性があるため、ダイヤモンドペーパーなどで角部を面取りしてください。

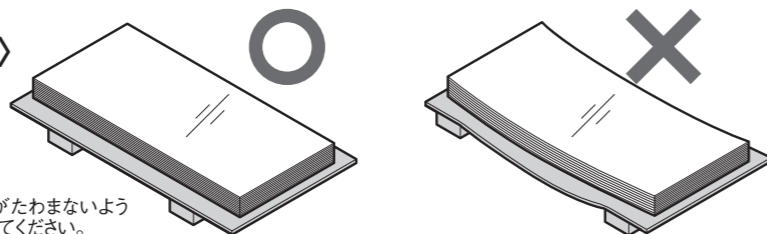


## 保管に関する注意

### 立置き、平置きとします。

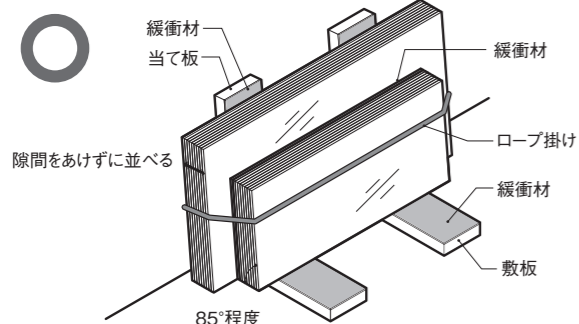
在庫保管は、直射日光や雨のあたる場所を避け、できるだけ乾燥した場所を選んで、破損・汚れのないように注意して保管してください。

〈平置き〉

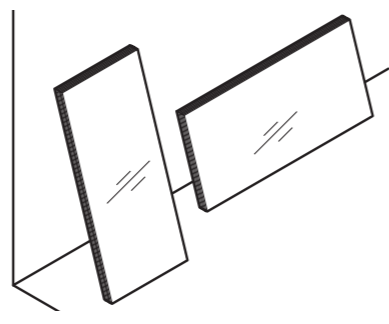


※ガラスがたわまないように置いてください。

〈立置き〉



〈立掛け〉



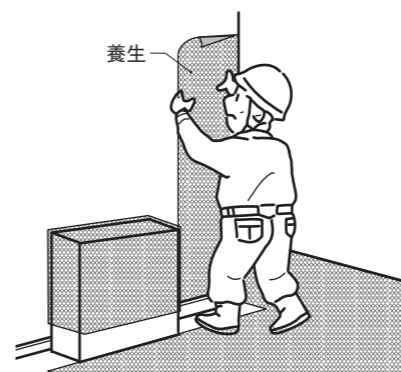
## 持ち運びに関する注意事項

**注意**

- 本製品はガラス製品につき取扱いの際は十分ご注意ください。
- 運搬・作業時にはすべり止めの手袋を着用するとともに、保護メガネを着用してください。

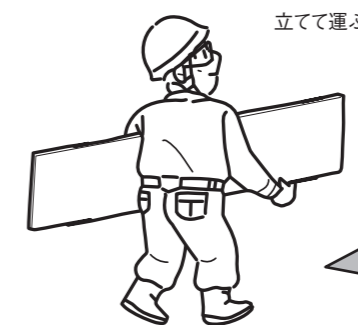
### ●周辺部は養生してください

作業現場の周辺部や家具などには、傷つけたり、ガラスの破損を避けるための養生をしてください。



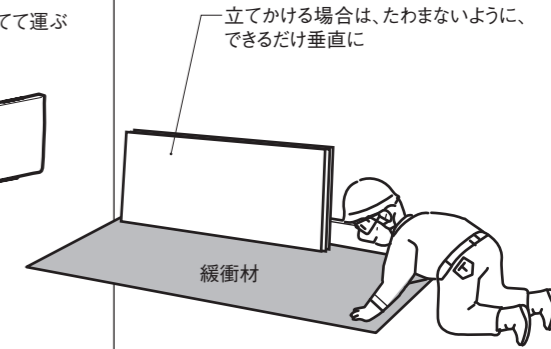
### ●立てて持ち運んでください

持ち運ぶ際にはラコベルプリュムがたわまないように、立てて持ち運んでください。



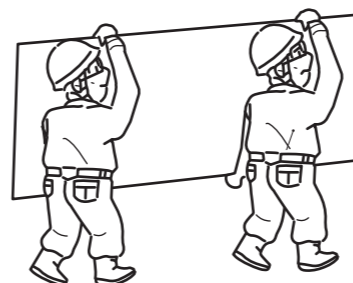
### ●緩衝材を敷いてください

床などに置く際はエッジ部分が金属などと接触しないよう、緩衝材の上に置いてください。



### ●大サイズの場合は2人作業で

大サイズの場合は2人作業で立てて持ち運んでください。



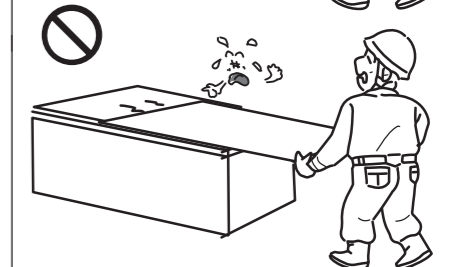
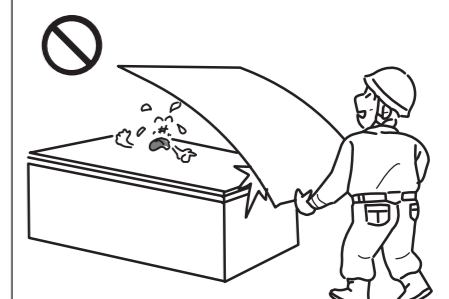
### ●平持ち禁止

たわませる。揺する、振り回すことは避けてください。



### ●持ち上げ時のご注意

- ・ラコベルプリュムの一部を支点にして持ち上げないでください。
- ・引きずらないでください。



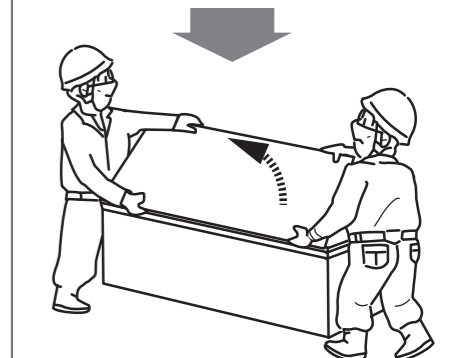
### ●角あてしないでください

鋭角な器物との衝突や角当ては損傷の原因となります。



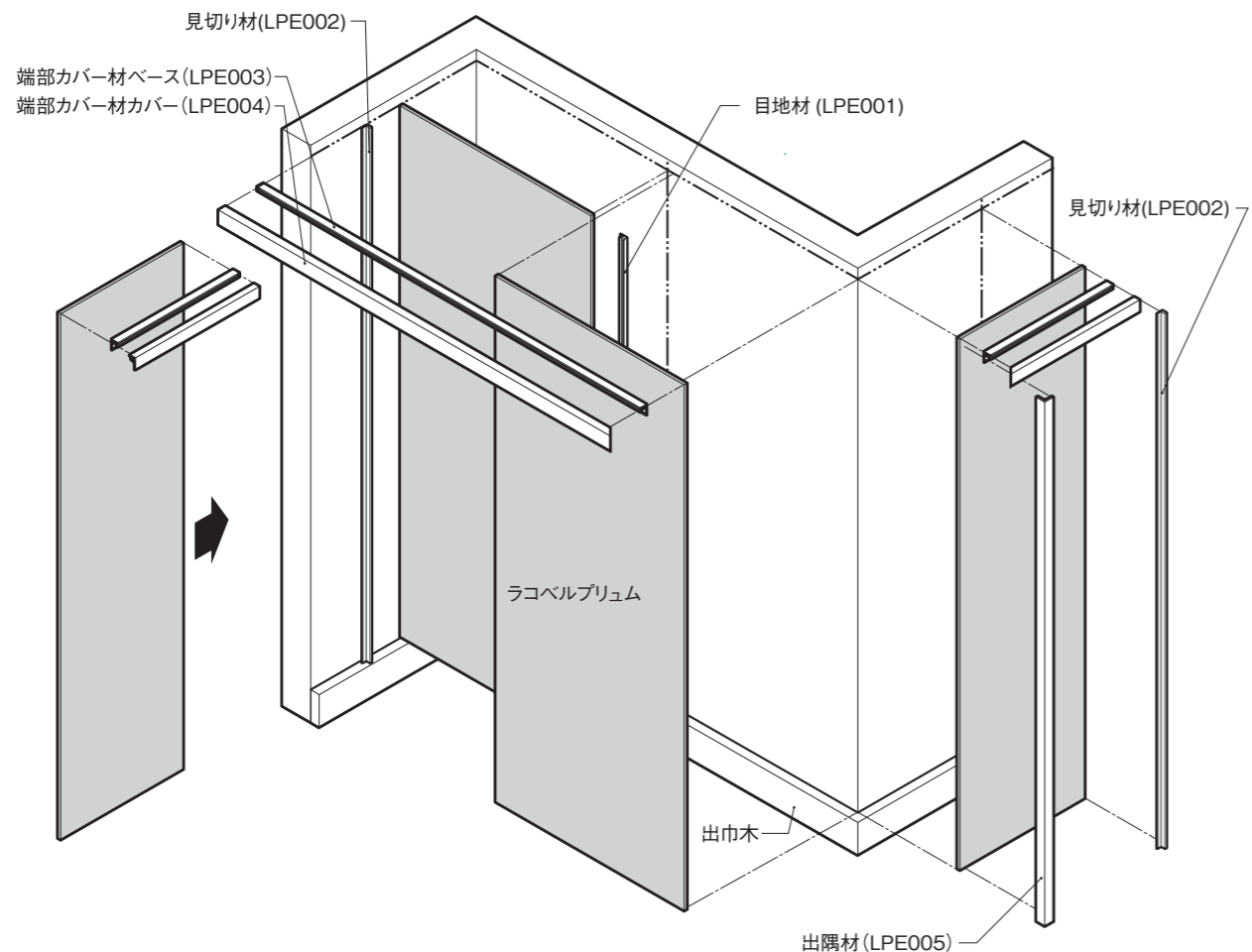
### ●1500mm以上の場合は補助材を

サイズ 1500mm 以上の場合はたわみ防止のため、補助材を取付けて持ち運びしてください。  
補助材 (P10 参照)



# 施工手順

## 構成図(参考例)



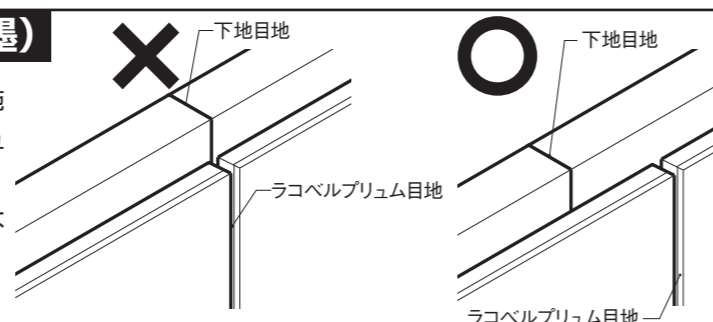
# 施工前の確認と準備

## 1. 事前の確認

確認事項	対応方法
<input type="checkbox"/> 下地は石膏ボードである	No. 石膏ボードに施工してください。
<input type="checkbox"/> 壁面は水平・垂直である	No. 補修が必要です。
<input type="checkbox"/> 壁面に不陸はない	No. 1mm以上の段差、5mm以上の不陸がある場合、補修が必要です。
<input type="checkbox"/> 下地に浮きはなし	No. タッカーなどで補修します。
<input type="checkbox"/> 下地にゴミ、ほこり、汚れはない	No. 下地のゴミ、ほこり、汚れが著しい場合接着不良の原因となります。中性洗剤などで汚れを除去し、乾いた状態にしてから施工を始めてください。
<input type="checkbox"/> 下辺は幅木等で支持される	No. 必ず下辺を支持してください。※支持部は5mm以上の出巾木、アングルなど
<input type="checkbox"/> 当施工要領書を確認した	No. 施工前には、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。
<input type="checkbox"/> 施工手順動画を確認した	No. <a href="https://www.asahiglassplaza.net/">https://www.asahiglassplaza.net/</a> ラコベル特設サイト/ブラインドラインナップ内参照

## 2. 墨出し(ラコベルプリウム割り付け墨)

- 基本墨(陸墨・通り芯など)を確認し、基本墨を基準に、施工図面より取付墨を出し、施工個所の下地にラコベルプリウムの割り付けを行ってください。
- ※割り付けの際、下地の目地とラコベルプリウムの目地が重ならないようにしてください。



## 3. 貼り付け準備 (現場で両面テープを貼る場合)

※接着剤を使用して施工する場合は、P15を参照ください。

### 【粘着テープ割り付け】

- ラコベルプリウム裏面の樹脂面に両面テープを貼ります。端部から20mmを開け、25mm幅の両面テープを100mmピッチで、両端部から中央に向かって貼り付けます。ピッチ調整が必要な場合は、中央部で100~200mm以下にして調整してください。

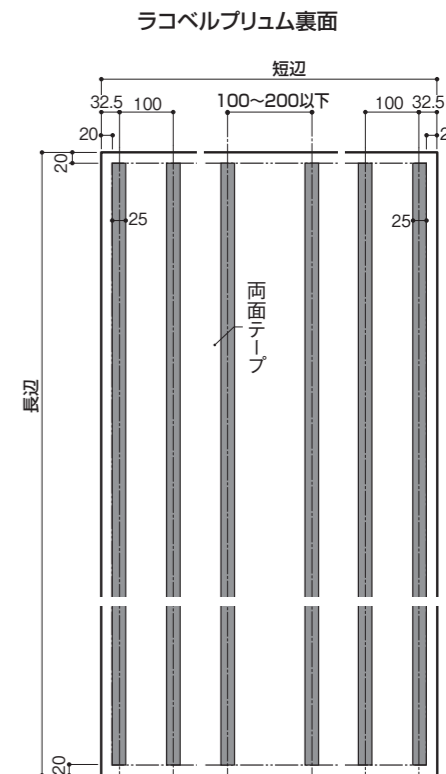
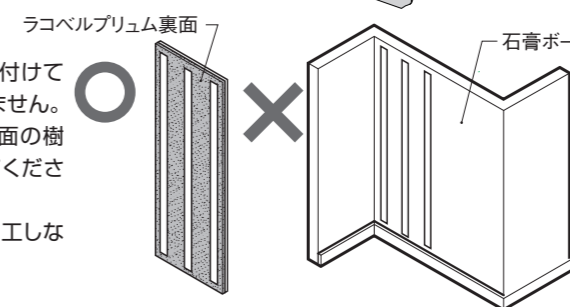
**!** お願い

貼り付けた後、貼り付けた両面テープを固い板などで1本ずつ樹脂面に押し付けるようにしっかり定着させます。

- ※圧着が十分でないと剥離テープ側に粘着剤が残り十分な接着ができません。
- ※下地材にきちんと接着させるため、両面テープを剥がす際に、糊がしっかり定着しているかご確認ください。定着していない場合は、固い板などで押さえ付けしっかり定着させて、剥離紙を剥がしてください。

### ⊘ 禁止

- 両面テープを、壁側に貼り付けて施工すると十分に接着できません。必ず、ラコベルプリウム裏面の樹脂側に貼り付けて施工してください。
- 10℃以下の環境下では施工しないでください。

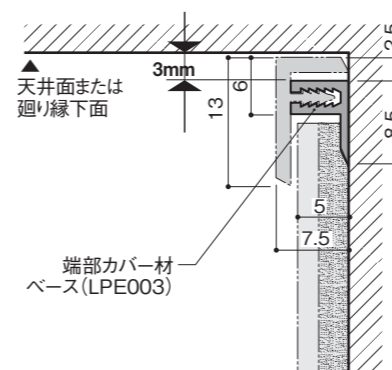


# 施工手順

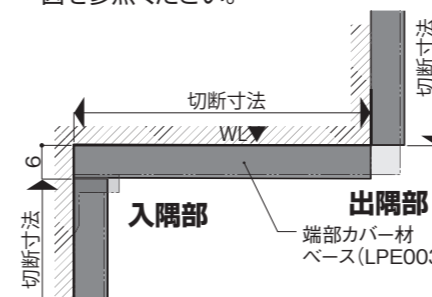
※本手順は、参考例に従って標準的な手順を示しています。

## 1. 端部カバー材ベースの貼り付け

- 天井面または廻り縁下に端部カバー材を使用する場合、ラコベルプリウム取付け後では施工できません。予めベース材を両面接着テープで貼り付けておきます。

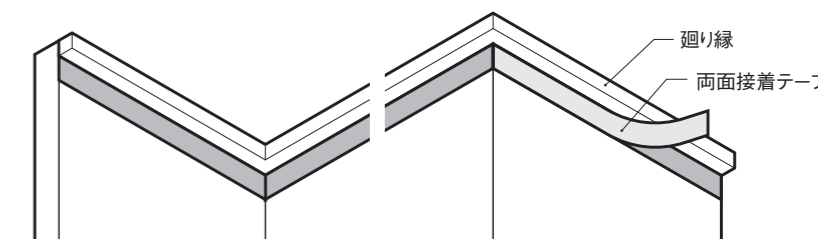


※端部カバー材ベースの切断寸法は下図を参照ください。



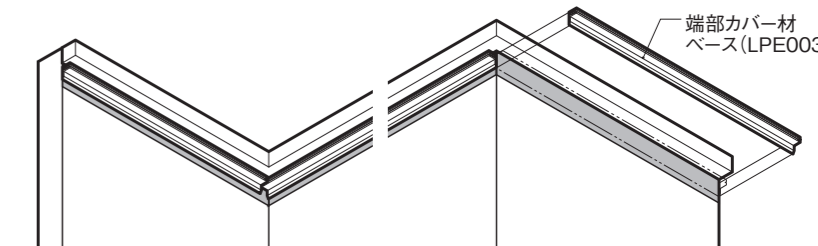
### ① 両面接着テープの貼り付け

天井面または廻り縁下面に合わせて両面接着テープを貼り付けます。



### ② 端部カバー材ベースの貼り付け

天井面または廻り縁下面から3mm空けて端部カバー材ベースを貼り付けます。(厚さ3mmの介物などを利用します。)





## 2.ラコベルプリュムの取付け準備

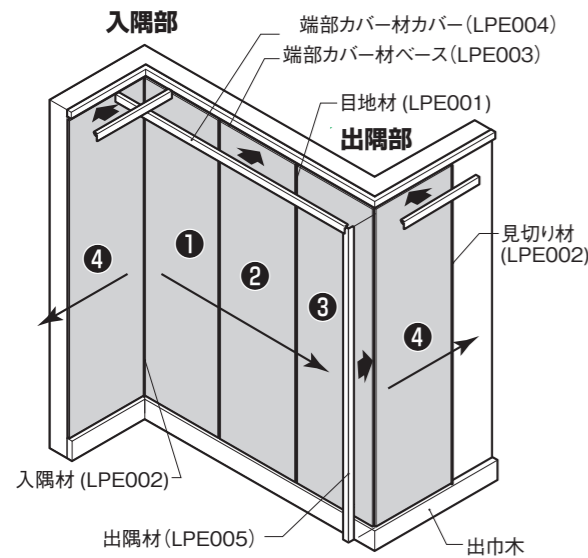
### ポイント ラコベルプリュムの貼り付け手順を決める

「ラコベルプリュム貼り付け→目地材取付け」を繰り返して取付けます。  
ラコベルプリュムは接着後の調整はできませんので、スタートのラコベルプリュムを決め、順番に貼っていきます。

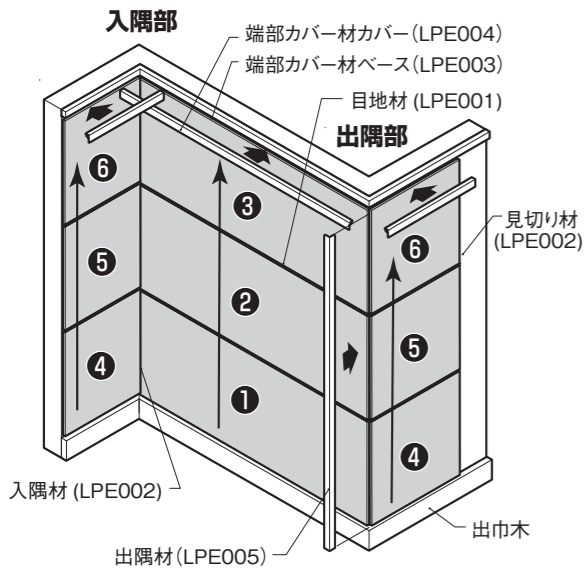
### 注意

接着後に位置の調整はできません。位置の確認してから貼り付けてください。

#### 【縦貼り例】



#### 【横貼り例】



### 注意

- 本製品はガラス製品につき取扱いの際は十分ご注意ください。
- 作業に当たっては、必ず手袋、保護メガネを着用してください。



### ポイント ラコベルプリュム運搬・取付時のたわみ防止

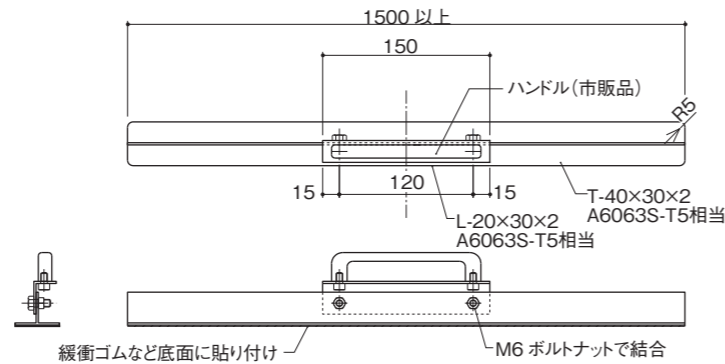
●サイズ1500mm以上の場合は、たわみ防止のため、補助材をラコベルプリュムの両端部に取付けて施工してください。

※サイズ2410mmの場合は、1800~2000mm程度が目安となります。

※製作した補助材の接着力などは、予め確認してからご使用ください。

※補助材を外す時に、ガラス面を傷つけないよう、ご注意ください。

#### 【補助材の例】



#### 【補助材の貼り付け】

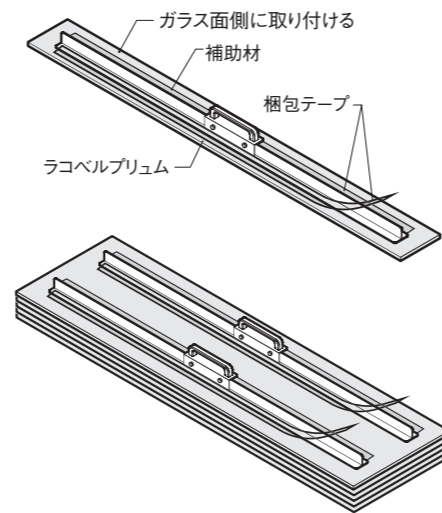
●ラコベルプリュムの表面に補助材をセットし、両側を梱包テープで貼り付けます。

※製作した補助材の接着力などは、予め確認してからご使用ください。

※補助材を外す時に、ガラス面を傷つけないよう、ご注意ください。

#### 【ラコベルプリュムの運搬・取付作業】

●サイズの大きいラコベルプリュムの運搬・取付け作業は2人で行ってください。

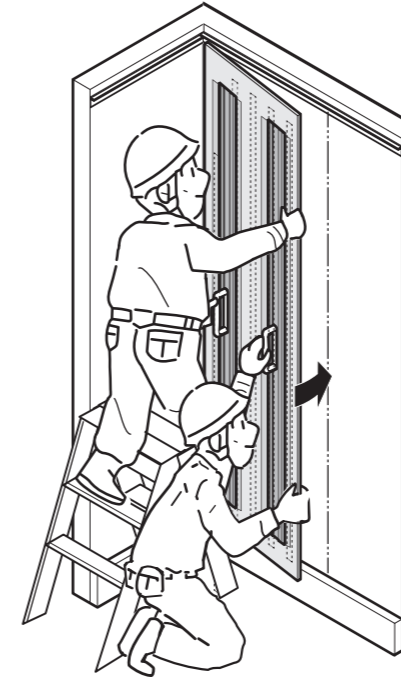


※説明図は縦貼りですが、横貼りも同様の要領で施工します。

## 3.ラコベルプリュムのセット

注意 接着後に位置の調整はできません。位置の確認してから貼り付けてください。

- ①施工位置確認のため、両面テープを剥がす前にラコベルプリュムを仮当てし、位置と寸法を確認します。
- ②ラコベルプリュムを立てて、両面テープの剥離紙を剥がします。



- ③墨出した貼り付け位置に、ラコベルプリュムをセットします。  
※中央部に浮きが発生しないように、端部から一定方向を決めて貼り付けます。  
※端部からランダムに押さえると、浮きや歪みがでるおそれがあります。
- ④補助材を使用している場合は、下地材に接着後、補助材を外します。

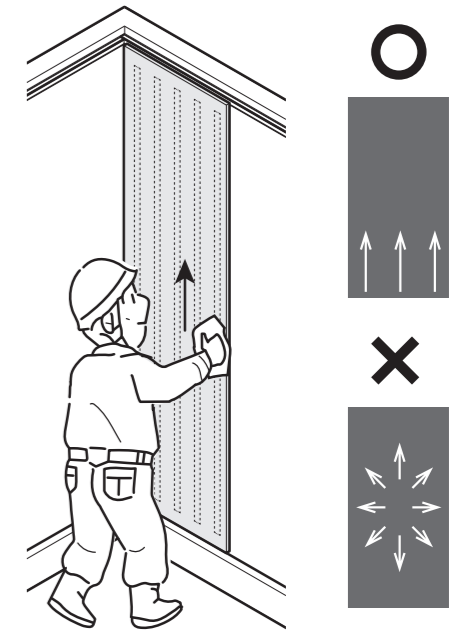
- ⑤両面テープの接着部をしっかり押さえ、下地材と十分圧着させてください。  
※ガラス面を傷を付けられないようご注意ください。  
※圧着の際に、図のように一定方向を決めて貼り付けると、歪みが少なく綺麗に貼ることができます。



たて基準



下辺基準



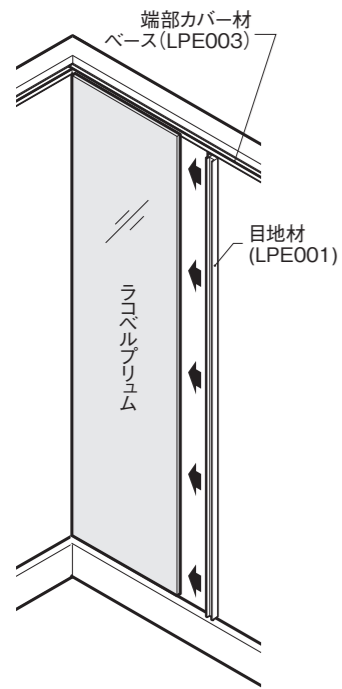
### 注意

特に下部や上部など、圧着し忘れないように、端部までしっかり押さえて圧着してください。

## 4. 目地材の取付け

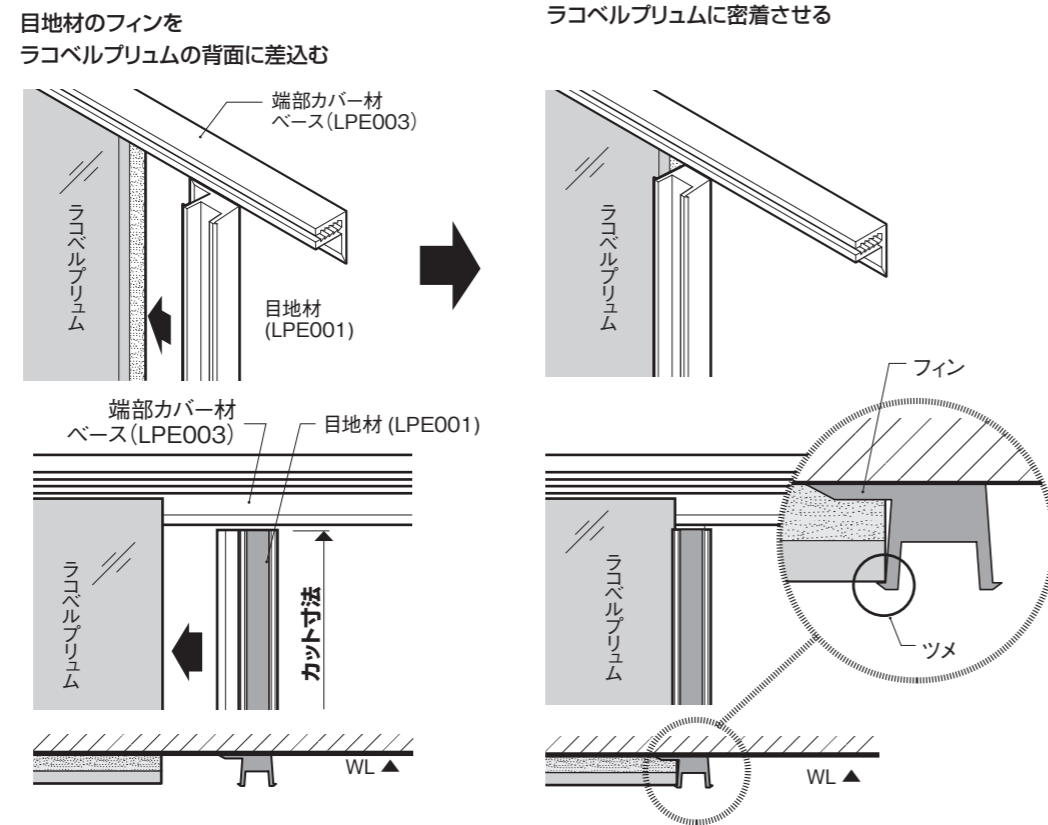
### ① 目地材のカット

- 目地材は端部カバー材ベース下端までを実測しカットします。



### ② 目地材の取付け

- ラコベルプリュムの側面に、目地材のフィンを押し込みます。その際、目地材のツメ部がラコベルプリュムのエッジに掛かるようにし、ラコベルプリュムと目地材の間に隙間が生じないように密着させてください。

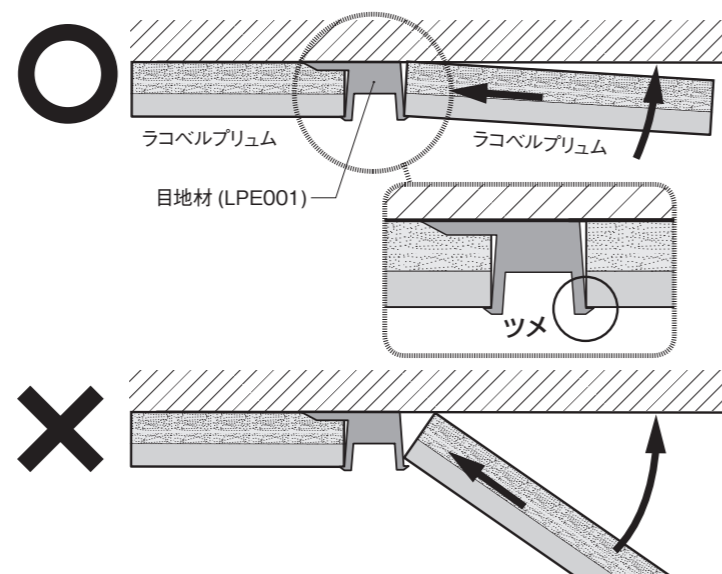


## 5. 2枚目以降のラコベルプリュムの貼り付け

- 2枚目以降のラコベルプリュムも、目地材の間に隙間が生じないように密着させながら、1枚目と同様に貼り付けます。

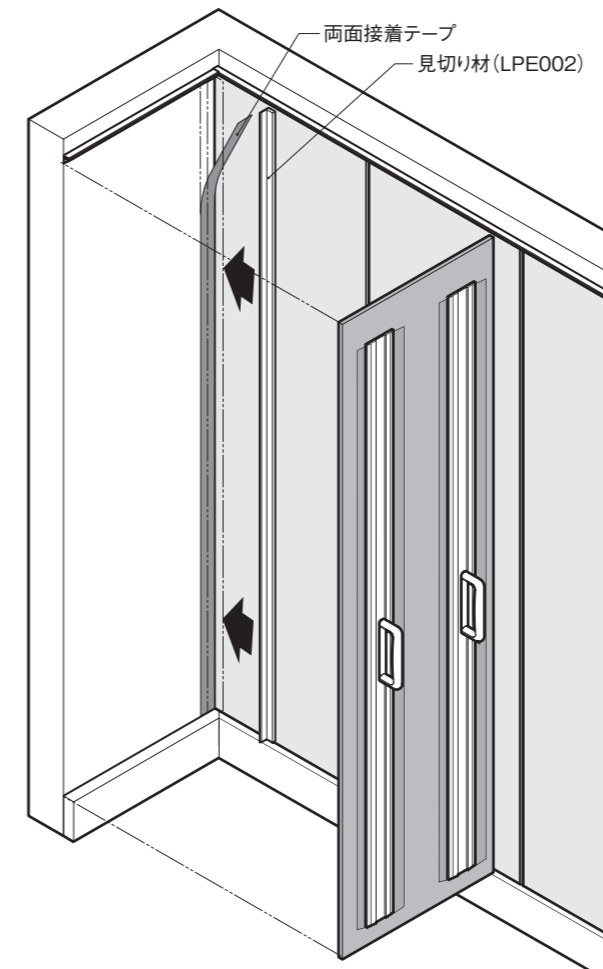


**ポイント** ● ラコベルプリュムはできるだけ浅い角度でセットします。  
● ラコベルプリュムはできるだけ浅い角度で壁面に当て、目地材のツメに掛かるように押し込んでから壁面に接着するときれいに施工できます。  
※ 深い角度で押し込みますと、目地材とラコベルプリュムの間にすき間が生じたり、傾くおそれがありますのでご注意ください。



## 6. 入隅の取付け

- 入隅には見切り材 (LPE002) を使用します。

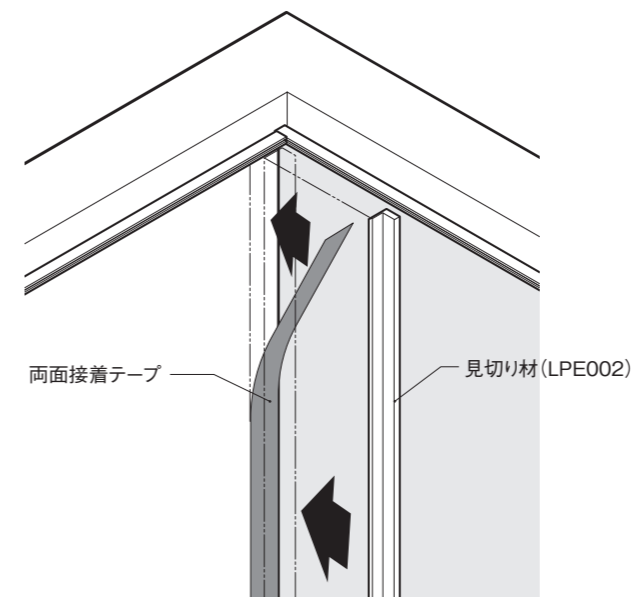


### ② 取付け壁面に両面接着テープを貼る

入隅材取付け壁面に両面接着テープを貼ります。

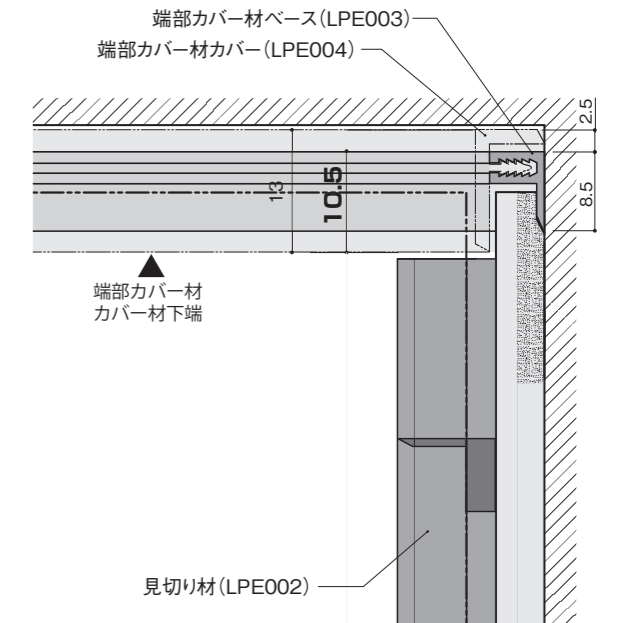
### ③ 入隅材を貼り付ける

入隅材の保護テープを外し、コーナー部に合わせて貼り付けます。



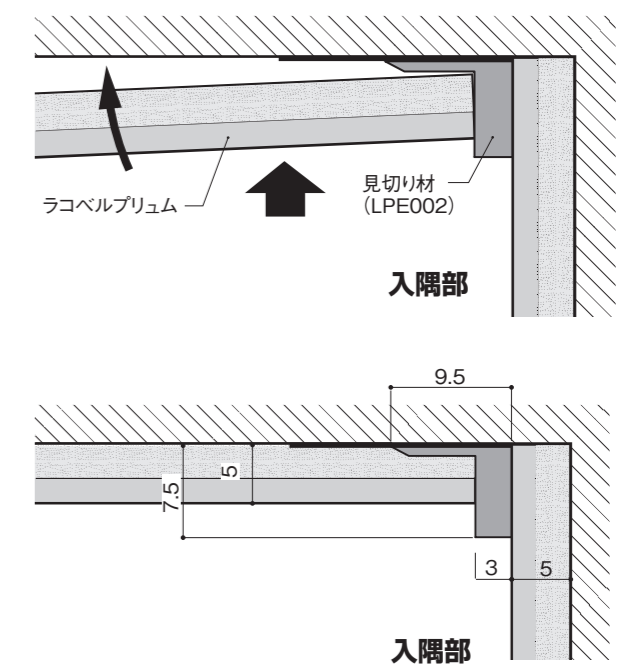
### ① 入隅材 (見切り材 (LPE002)) のカット

- 入隅材は端部カバー材カバー (LPE004) 下端でカットします。端部カバー材カバー (LPE004) 下端までの寸法は端部カバー材ベース (LPE003) 上端から 10.5mm 下がった位置になります。



### ④ ラコベルプリュムの取付

- 入隅材のコーナーに合わせて、ラコベルプリュムを取付けます。









# ラコベル®プリュム® 施工前・施工後 チェックシート



注意

●ラコベルプリュムの施工にあたって、施工前の確認・施工後の確認を必ず実施してください。  
施工不良による、脱落や破損のおそれがあります。

## 施工前の確認

### 確認事項

### 対応方法

- |   |     |   |
|---|-----|---|
| <input type="checkbox"/> 下地は石膏ボードである……………     | No. | 石膏ボードに施工してください。   |
| <input type="checkbox"/> 壁面は水平・垂直である……………     | No. | 補修が必要です。  |
| <input type="checkbox"/> 壁面に不陸はない……………        | No. | 1mm以上の段差、5mm以上の不陸がある場合、補修が必要です。   |
| <input type="checkbox"/> 下地に浮きはなし……………        | No. | タッカーなどで補修します。   |
| <input type="checkbox"/> 下地にゴミ、ほこり、汚れはない…………… | No. | 下地のゴミ、ほこり、汚れが著しい場合接着不良の原因となります。<br>中性洗剤などで汚れを除去し、乾いた状態にしてから施工を始めてください。                                      |
| <input type="checkbox"/> 下辺は幅木等で支持される……………    | No. | 必ず下辺を支持してください。※支持部は5mm以上の出巾木、アングルなど   |
| <input type="checkbox"/> 当施工要領書を確認した……………     | No. | 施工前には、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。  |
| <input type="checkbox"/> 施工手順動画を確認した……………     | No. | <a href="https://www.asahiglassplaza.net/">https://www.asahiglassplaza.net/</a><br>ラコベル特設サイト/ブラインドラインナップ内参照 |

## 施工後の確認

### 確認事項

### 対応方法

- |  |           |  |
|--|-----------|--|
| <input type="checkbox"/> ラコベルプリュムを貼り付けた後、<br>しっかり圧着させたか。<br>(施工要領書 P11 確認) | …………… No. | 両面テープの接着部を、布などを使用してしっかり押さえつけ、下地材と十分<br>圧着させてください。<br>特に下部や上部など、圧着し忘れ無い<br>ように端部までしっかり押さえつけて圧着<br>してください。 |
|--|-----------|--|



- |   |           |  |
|---|-----------|--|
| <input type="checkbox"/> ラコベルプリュムが下地材にしっかり<br>接着されているか吸盤にて確認。 | …………… No. | 下地材にしっかり接着されたか、吸盤<br>(直径約40mm)をガラス面に貼り付け<br>て引っ張り、ガラスが浮かないか確認<br>してください。<br>しっかり接着されていない場合は、再<br>度圧着してください。<br>※動画を参照してください。 |
|---|-----------|--|

